

2017年11月25日 市民タイムス「科学の甲子園 全国大会へ」

市民タイ

科学甲子園 一丸で全国へ

秀峰のチーム 2年連続で

松本市の松本秀峰中等教育学校の5年

生（高校2年生）の男子生徒有志6人でつくるチームが、数学や理科、情報科目での知能を競う「科学の甲子園全国大会」の県大会で総合優勝し、来年3月に埼玉県で開かれる全国大会への出場を決めた。同校は2年連続の出場を決めた。手たちは中学校入学当初から一緒に過ごしてきたチームワークも武器に、全国の舞台でも好成績を狙う。（北條彩乃）

（第3種郵便物認可）
松本市の松本秀峰中等教育学校の5年生（高校2年生）の男子生徒有志6人でつくるチームが、数学や理科、情報科目での知能を競う「科学の甲子園全国大会」の県大会で総合優勝し、来年3月に埼玉県で開かれる全国大会への出場を決めた。同校は2年連続の出場を決めた。手たちは中学校入学当初から一緒に過ごしてきたチームワークも武器に、全国の舞台でも好成績を狙う。（北條彩乃）

県大会は信州大学松本キャンパスで行わ
れ、23チームが出場した。選手は吉屋大紀君（16）、松沢龍君（17）、上村直幹君（16）、川原航君（17）、太田一輝君（17）で、筆記試験は数学、化



県大会代表として科学の甲子園全国大会に出場する松本秀峰チームのメンバー

時間の制限時間内に仲間と協力しながら解く。1人ずつ科目を担当して前半1時間は各

自で、残り1時間はお互いに相談し合いながら解いた。実技試験では、科学の実験などを

自分で、残り1時間はお互いに相談し合いながら解いた。実技試験では、科学の実験などを

自分で、残り1時間はお互いに相談し合いながら解いた。実技試験では、科学の実験などを

自分で、残り1時間はお互いに相談し合いながら解いた。実技試験では、科学の実験などを

協力して行った。

県大会1ヵ月前の10

月中旬ころからは個人での勉強だけではなく、週に2回設定されている放課後の自習

時間に全員で集まって対策をした。昨年全国大会に出場した先輩たちは、出題傾向をまとめたプリントや、大会に向けての助言などを

応援してくれたとい

う。

全国大会で優勝すると、来年5月にアメリカで開かれる「サイエンスオリンピアード」への出場権を得る。情報担当の吉屋君は「全国大会まで時間があるので全員でしっかりと対策し、悔いを残さないようにしたい」と意気込んでいた。